

ボランティアセンター 東日本大震災支援ニュース

日本医療福祉生協連 近畿ブロック

2011年6月16日 No38
発行担当 医療生協健文会・吉村

みやぎ県南医療生協 槻木事務所 連絡先 090-6056-8275

仮設住宅に自治の灯を!!

山元町最大の仮設住宅にはいい、支援の絆が繋がりにかけています。

山元町民グラウンドの仮設住宅は入居が始まって約1カ月、戸数141・447人の仮設住宅です。住民同士の繋がりが薄く、個々の世帯がばらばらに暮らしている状況です。住宅全体の区長も各棟の班長等も選出されておらず、自治機能が全くありません。仮設住宅集会所も鍵がかかったままで、使用されたことはなかったようです。3人のメンバーでこの住宅を初めて訪ね、支援の訴えをする中で、被災前に住んでいた地区の区長さんや副区長さんと話すことが出来、支援の手がかりがつかめました。困っているとき、悩んでいるとき、苦しんでいるときこそ繋がりが必要なのに、本当にバラバラになっている状況です。写真の人は車ごと津波にさらわれ3回波の下に潜り、奇跡的に助かったと話してくれました。今ようやく話せるようになったようです。奥さんも亡くなり、独りぼっちになり、「あの時死んでいた方が良かったかもしれない」と話



していましたが、この人達にこそ支援が必要なんだと感じました。人の心をいやせるのは人しかいないのだから、本当の「絆」を作れるように支援が出来たらと痛切に感じました。

旧坂元中学校跡の仮設住宅の皆さんが扇風機75台を希望しています。夏に向けて今までとは違ったニーズが生まれています。全国の仲間の支援で被災地山元町を元気にしよう。自立は連帯なしには生まれない。頑張ろう山元!

